



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151(代表)
いちいちごいち

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

病院長就任のご挨拶

昭和大学歯科病院長 榎 宏太郎

本年4月1日より、昭和大学歯科病院長を拝命いたしました。ちょうど10年前の2013年から2019年までの期間にも歯科病院長を勤めさせていただき、二度目の登板となります。

当時と比べて歯科病院の診療科もかなり変わり、時代に呼応した新しい体制へと発展しております。しかし、自分たちが社会に対して最善な歯科医療を供給するという基本的な理念と社会との契約に基づくプロフェッショナリズムを堅持すべきである点は常に変わりません。再度、皆様とともに、より安全で高度な診療を実現し、患者さんがいつも安心して通える歯科病院の実現に向けて邁進したいと思います。

具体的には、

まず、1) 各診療科における現在の診療状況の把握、2) 患者さんからの要求の調査、3) 個々の職員の希望や意見の聴取、4) 昭和大学の他の附属病院（藤が丘、横浜北部、江東豊洲、烏山）との病院歯科を中心とした連携医療の推進、などを早急に

進めます。

さらに、正確な保険請求は歯科医師法の求める義務であり、治療順序や内容を論理的に安全性を保ちながらガイドしてくれるものです。そのため、今後は臨床実習生にも正確な記載が求められる予定です。

そこで、5) カルテやレセプト記載情報の正確度の向上、6) 医療安全への失敗学の導入と科学的分析、などを教育上の達成すべき重要な目標とします。7) 各診療科の特徴とニーズを考慮した就労人数の調整にも、より一層、積極的に取り組む所存です。

そして、これら1～7)の達成には、全職員が相互理解を深め、問題意識を共有する必要があります。昭和大学歯科病院としてのミッションを達成できますよう、ご負担をおかけすることも多々あるかと思いますが、何卒宜しく御協力の程、お願い申し上げます。



- P1 巻頭言 病院長就任のご挨拶
- P2-3 診療科長就任のご挨拶
- P4 診療科紹介 インプラント歯科
- P5 診療科紹介 お口の健康センター
- P6 新入職員のご挨拶 編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

診療科長就任のご挨拶

矯正歯科 診療科長・教授 中納 治久

本年4月1日より、矯正歯科の診療科長を拝命いたしました。

近年、矯正歯科治療の認知度の向上に伴い、患者さんの要求も高度になってきました。当科は、一般的な子供の矯正、大人の矯正に加え、顎の変形を伴う「顎変形症」、口唇口蓋裂を始めとする「先天疾患」や歯が顎に埋って生えてこない「埋伏歯」を伴う不正咬合の患者さん等に対して医系総合大学である利点を活かし、チーム医療を実践しています。

また、矯正歯科治療は一般的には自費診療ですが、当院は厚生労働大臣が定める施設基準を満たしており、顎の手術が必要となる「顎変形症」、厚生労働大臣が定める「先天疾患」や前歯及び小臼歯の永久歯3歯以上の「埋伏歯」が原因の咬合異常に対しては、保

険診療を行っています。

一方、研究成果の臨床応用も積極的に進めています。研究開発に携わった顎顔面用コーンビームCTによる3次元診断を実践すると共に、光学印象など先進的なデジタル技術の臨床応用を進めてきました。

安心・安全な医療を実践する為には、適切な検査、診断、治療計画の立案と確かな技術のみならず、インフォームドコンセントが重要です。患者さんに納得いくまで説明した上で、治療を進めたいと考えています。これからも皆様に信頼していただける医療を提供すべく、スタッフ一丸となり、頑張っまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



診療科長就任のご挨拶

歯科放射線科 診療科長・教授 松田 幸子

皆さん、こんにちは。本年4月1日より、歯科放射線科の診療科長を拝命いたしました、松田と申します。よろしくお願い申し上げます。

歯科放射線科では、ほぼすべての診療科からの画像検査依頼を受けております。検査が難しい方も多く、診療放射線技師が担当医と連携を取り工夫して撮影しています。それらの画像をもとに、歯科放射線科医は診療に必要な情報を担当医にできるだけ遅滞なく提供できるように報告書の作成を行っています。

当科では、お顔全体をパノラマ画像のように一望できる検査（パノラマエックス線検査）を毎日90～100件程度行っています。この検査から、歯や顎の病気以外の疾患が見えることがあります。当科ではパノラマエック

ス線写真からわかる全身疾患の研究も行っています。この分野では脳血管障害のリスクや骨粗しょう症に関する研究が有名ですが、当科では口腔の機能低下と画像との関連性について検討しています。

今後は医学部と共同で、臓器疾患との関連性を検証することを予定しています。このように、1枚のエックス線画像でも、患者さんにとって有用な情報を少しでも還元できるように研究を行っていきたいと思っております。

担当医の先生方とは違って、直接お会いする機会は少ないですが、今後とも宜しくお願いいたします。



診療科長就任のご挨拶

歯科麻酔科 診療科長・教授 増田 陸雄

本年4月1日より、歯科麻酔科教授を拝命しました増田陸雄と申します。「歯科麻酔」と聞いて注射（局所麻酔）を思い出される方が多いかもしれませんが、私たち歯科麻酔科は一般の歯科医院では治療が難しい患者さんを対象に全身麻酔や静脈内鎮静法を行っています。世の中には皆さんが思ってる以上に全身麻酔や静脈内鎮静法を必要とする歯科患者さんがいらっしゃいます。当院では年間1,000

件以上の全身麻酔、2,000件以上の静脈内鎮静法が行われています。今後も医局員、各科の先生方および病院スタッフと力を合わせて安全で快適な歯科治療を提供してまいります。地域の歯科患者の皆様ならびに歯科医師会の先生方、これからどうぞよろしくお願いいたします。



診療科長就任のご挨拶

口腔機能管理科 診療科長・教授 古屋 純一

本年4月1日より、口腔機能管理科（旧・高齢者歯科）の診療科長を拝命いたしました。当科では主に高齢の方の歯科治療（特に義歯と口腔機能の管理）を担当しておりましたが、年齢にとらわれず口腔機能の低下に幅広く対応するために、口腔機能管理科に診療科名を変更いたしました。オーラルフレイルや口腔機能低下症は、全身の健康やフレイルに影響するため、50歳から公的保険での管理が可能となっています。

義歯治療や咀嚼嚥下の検査によって、おいしく食べる楽しみを守りましょう。また、口腔機能管理科では、歯科病院の他専門診療科、地域医療機関、医科との緊密な連携によって、昭和大学病院に入院中の患者さんや通院が困難な患者さんの口腔機能管理もサポートいたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



事務長着任のご挨拶

事務課 事務長 青木 和人

本年4月1日より、事務長として着任いたしました青木和人（あおきかずと）と申します。3月までは、昭和大学江東豊洲病院にて管理課長として勤務していました。

昭和大学歯科病院には、約8年前に学事部学務課の歯学部担当をしていた際、毎週来院していました。当時の学生たちが歯科医師となり、立派に勤務していると思うと月日の流れを感じ、当院で事務長を勤めさせていただくことを心より嬉しく思います。

今後は、榎病院長を中心に先日優勝したWBCの侍JAPANのようなチームワークの良い病院として患者さんの立場にたった医療を実践し、満足度の高い病院となることを目指します。

また、病院運営には迅速、適切、柔軟に取り組む所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。



診療科紹介：インプラント歯科

インプラント歯科 診療科長・准教授 宗像 源博

現在、インプラント歯科は診療科長の宗像源博以下15名の常勤スタッフで、患者さんの治療にあたらせていただいております。

当科では主にインプラント治療を中心に治療していますが、インプラントが必要な部分以外にも、虫歯や歯周病の治療などの治療も他科と連携を取りながら、お口の中全体の治療を行っています。



インプラント歯科スタッフ

元々当院に受診されている患者さんだけでなく、かかりつけの歯科医院にかかっている患者さんの治療も行っております。

かかりつけの歯科医院では対応が困難な症例（例えば骨幅が細い、大きな骨の移植が必要、インプラント部分の炎症、インプラント治療を行ったクリニックに通院できなくなった、など）であっても、患者さんの問題が解決できるように可能な限り対応させていただきます。

インプラント治療は細部にわたる術前診断と適切な技術が必要になります。そのため手術前にはインプラント治療に携わる歯科医師全員が集まり、当院で行う全ての患者さんのインプラント手術に関して術前カンファレンスを実施しています。手術内容や治療計画を

多くの視点から考え、より良い方法を共有することで患者さんを第一に考えた治療が出来るようにしています。

ここ数年は若手歯科医師が入局を希望してくれており、活気があふれる診療科となっています。さらに、最新の治療に関しての知識や情報を共有するための他大学の先生方とのセミナーや、外部の先生や歯科衛生士も参加が可能な若手歯科医師のための卒後研修としてスキルアップセミナー、歯科衛生士のためのセミナーなども実施しております。

大学病院という教育機関として、日本口腔インプラント学会口腔インプラント指導医・専門医が4名在籍しており、指導医のもと、臨床研究も実施し、成果を学会で発表するなど日々頑張っており取り組んでいます。

歯がなくなったところの治療に悩んでいる方や入れ歯がうまく使えないなど、お口の中のことでお困りのことや不安に感じていることがあれば何でも当科にご相談ください。



手術中の風景

診療科紹介：お口の健康センター

お口の健康センター センター長・教授 真鍋 厚史

歯科衛生室 歯科衛生士 篠木 悠美

お口の健康センターでは、むし歯や歯周病などの歯科治療が終了した方や定期検診を希望される方などへ、お口の健康管理のサポートを保険外診療で行っています。

お口の健康維持・増進を目的として、当院では「口元からより美しく、健康に！」をスローガンに、“SOHP（Scientific Oral Health Promotion）”というプログラムを行っています。SOHPでは、細菌数の測定、口臭測定、唾液（量、成分）の測定、歯周病リスク判定、歯の色の測定の5項目6種類の検査を行い、その結果から、患者さんに合ったクリーニングコースを提供しています。

コースには、クリーニング後に薬剤を塗布し、歯質の強化を行う『スタンダードコース』、クリーニング後に口元の緊張をほぐし血行を促進するマッサージがついた『オーラルエステコース』、タバコやお茶、ワインなどの着色の除去を行う『ステイン除去コース』、矯正装置装着中の方に行う『矯正コース』、インプラントが入っている方に行う

『インプラントコース』、ホワイトニング施術前後に行う『ホワイトニングコース』があります。

クリーニングコースの中で使用している歯面清掃用の器械の中には、非常に細かなパウダー粒子をジェット噴射で歯に吹き付けることにより、天然歯や詰め物・被せ物などを傷つけずに、着色やプラーク（歯垢）を短時間で効果的に除去することができるものもあります。その他にも、対象となる方の口腔内の状態やご希望に合わせて器材を選択しています。定期的にクリーニングを受けていただくことで、着色やプラーク、歯石が付きにくくなり、良好な口腔内環境を保つことができるといった効果も期待できます。お口の中の健康な状態を維持していくために、口腔内状態のチェックから始めてみませんか。

お口の健康センターの受診を希望される際は、担当歯科医師または歯科衛生士にご相談ください。



歯面清掃用の器械によるクリーニング



お口の健康センター担当歯科衛生士

新入職員ご挨拶

昭和大学歯科病院で研修することになりました。技術だけでなく、診断や医療人としての姿勢など多くのことを学びたいと思っています。よろしくお願いいたします。

臨床研修歯科医師 保科 悠士朗

昭和大学歯科病院で研修することになりました。さまざまな経験を通し、実りのある一年にしたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

臨床研修歯科医師 岡本 和樹



患者さんの話しやすい環境作りを大切に、また少しでも不安を抱えている方に対し和らげられるそんな歯科衛生士になれるよう頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 青木 芳歌

私は、口腔を入り口として患者さんの全身の健康サポートを行える歯科衛生士になる、という言葉に常に意識し、日々精進していきたいと思います。

歯科衛生室 歯科衛生士 岡本 彩里

編集後記

新年度がスタートしました。新型コロナが落ち着きマスク着用が緩和され、明るい春を迎えられたかと思います。しかし油断は禁物ですので、体調管理をしっかりと元気に過ごしましょう。歯科病院にお越しの際は引き続きマスクの着用をお願いいたします。（T.A）

全ての年代の患者さんに信頼していただけるよう、常に学びを止めず、幅広く深い知識をもつ歯科衛生士を目指します。

歯科衛生室 歯科衛生士 鈴木 美優

患者さんのお口と身体健康維持、向上のためのサポートができるような歯科衛生士を目指して、日々努力していきたいと思えます。

歯科衛生室 歯科衛生士 三木 ゆりえ

患者さんの不安や悩みに寄り添い、安心して診療を受けられるような環境をつくり、信頼される歯科衛生士になれるよう頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 南 まひる

病院の一員としての自覚を持って、日々向上心を忘れず励み、歯科衛生士としても人としても成長していけるよう頑張ります。

歯科衛生室 歯科衛生士 村田 歩美

